

会長挨拶

子供たちや学校を取り巻く環境が複雑・多様化する中、子供たちの豊かな成長のためには、「社会総掛かりでの教育」の実現が必要とされています。また、「社会総掛かりでの教育」の実現のためには、学校は「開かれた学校」にとどまらず、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」へと転換していくことが重要とされています。



学校運営協議会は、このような背景のもと、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づいて設置され、①校長が作成する学校運営の基本方針の承認、②学校運営についての教育委員会又は校長への意見申述、③教職員の任用に関する教育委員会への意見申述を、主な役割としています。

現在、向陽中学校の学校運営協議会は、校長先生のほか、地域住民、保護者、学識経験者の11名の多様な委員によって構成されています。

学校運営協議会では、毎月1回開催される会議（原則公開）において、授業・学習環境、人間関係、学校設備などに関し、地域の目線、外部の目線から、広く様々な意見が交わされています。また、日常的にも、学校と家庭・地域の架け橋となり、子供たちの成長に役立てるよう取り組みを続けています。

保護者の皆様や地域の皆様におかれましては、学校運営協議会制度のこのような意義についてご理解をいただき、子供たちの豊かな成長、より良い未来のため、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

杉並区立向陽中学校学校運営協議会会長 原田 崇史